

地域リハビリテーション広域支援センター

・地域リハビリテーションとは

地域社会では、高齢者や障害者がいつまでも健康でいきいきとした生活を送ることができるように、地域的なケアを行う様々な段階において切れ目なく幅広いリハビリテーションの適切な提供を行うことができるよう、地域リハビリテーション関係機関の有機的な連携体制の整備を目指しております。

和歌山県では平成19年より、地域リハビリテーション広域支援センターとして、・地域におけるリハビリ実施機関の支援 ・リハビリ支援の共同利用 ・地域におけるリハビリ実施機関の従事者に対する援助・研修を目的として、当院では年2回の研修会を開催しております。

当院におきましては、伊藤院長先生始め、病院の方々のご理解とご支援を得ながら・おかげさまで、今年17回の開催を数える事となりました。この場をおかりしまして、深く感謝したいと思います。

リハビリテーション科は、今年度6月から「リハビリテーションセンター」として名称を改名しました。そして11月より地域包括ケア病棟を新設して新たに活動しております。なので、これまで以上に地域リハビリテーション広域支援センターの活動も通じて、地域における一般の方々、リハビリ・医療関係機関の方々に対する情報発信源として、有田地域の住民皆様方に還元するための幅広い情報と・知識・技術を提供していきたいと思っております。

今年度の地域リハビリテーション広域支援センター第1回目は、株式会社ノボノルディスクファーマ 正木 達也先生による「インスリンの基礎知識とデバイスの取り扱いについて」を開催いたしました。第2回目は、平成29年1月21日に済生会有田病院 技監兼薬剤部長 中谷 和史先生による「薬剤師の役割 お薬のおはなし」について講演を依頼しております。

これからも、有田地域、医療職の方々の役立つ、興味のある研修会を開催していきますので、皆様方のふるってのご参加をお待ちしております。どうぞこれからも宜しくお願い致します。

過去5年間 地域リハビリテーション研修会実績

平成24年度	第1回	「これからのリハビリテーション ～地域リハを中心に～」	長辻永喜	藍野大学 医療保健学部 作業療法学科長
	第2回	「TA理論を使って私を知る」(仮題)	野村真佐子	元済生会有田病院 看護部長
平成25年度	第1回	「中枢神経麻痺の電気刺激を併用したアプローチ法」	青山浩樹	伊藤超短波(株)メディカル事業部 リハビリテーション事業部代表
	第2回	「高齢者の栄養を嚥下困難食 ～最後のひとさじまで～」	西谷幸子	国保野上厚生病院 管理栄養士
平成26年度	第1回	「保健師の仕事と高齢者福祉での取り組み」	神崎恵	湯浅保健所 保健師
	第2回	「リスク管理とセルフマネジメントについて」	南條千人	京都医健専門学校 理学療法科教員
平成27年度	第1回	「足こぎ車いすについて」	村岡 利彦	(株) TESS 営業本部長
	第2回	「介護支援専門員の役割と視点」	塩見 哲史	カルフルド・ルポ 印南在宅支援センター
平成28年度	第1回	「インスリンの基礎知識とデバイスの取り扱いについて」	正木 達也	ノボノルディスクファーマ 株式会社
	第2回	「薬剤師の役割」	中谷 和史	済生会有田病院 技監兼薬局部長

平成28年度 第1回 研修会 講師：正木 達也先生



研修会実技演習様子

